

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 選挙で負けようが私たちの座り込みは続く

那覇市長選の結果が出た翌24日、キャンプ・シュワブゲート前での座り込みの様子です。昼の座り込みには東京からの「平和ツアー」20人も合流、合計50人ほどになりました。名護市の山田秀子さん(68)がマイクを握り「那覇市長選挙は残念でしたが、私たちのたかひは選挙の勝敗に関係ありません。子どもや孫の世代に基地を残さないため座り込みを続けているのです」と訴えると大きな拍手と歓声、指笛が響きました。このあと山田さんは、コーラスで鍛えた美声で「たんぽぽ」など闘いの歌2曲を披露、参加者を鼓舞しました。山田さんはうるま市の出身。「生まれた時から米軍基地の危険性と隣あわせで過ごしました。本土で看護師を務め、定年退職後、名護市に戻りました。子どもや孫の世代に基地を残さないのが今生きる私たちの責務だと思ふ。その一心で辺野古に通い続けています」と語っていました。



写真上、左端がマイクを握る山田さん。写真下は浜のテントで記念撮影する平和ツアーの皆さん。抗議船から新基地建設現場も視察しました。

子や孫に基地を残さないのが私たちの責務

### 翁長氏が大健闘

—那覇市長選—

23日投開票された那覇市長選で「オール沖縄」の翁長雄治氏は大激戦の中、大健闘しましたが及びませんでした。当選は自公推薦の前副市長の知念覚氏。同時に行われた市議補選では、「オール沖縄」の永山盛太郎氏が当選しました。



開票速報を見つめる翁長氏(右端)とデニー知事ら

### 金城さん 辺野古の看板を新装

実業家のひろゆき(西村博之)氏が「座り込み0日にしたほうがよくない?」、「汚い字」と中傷してSNSで批判が殺到した辺野古ゲート前の看板は、辺野古住民の金城武政さん(65)が作ったものです。金城さんが高校3年の時、辺野古でバーを経営していた母富子さんが強盗に入った米兵に頭をブロックで殴られ死亡しました。金城さんは、デザインを学んだ知識を生かしてゲート前の看板づくりを引き受けてきました。「汚い字」と言われ「そういうならもっときれいに作り直してもいい」と語り、22日から新しい看板をテント村に設置しました。



装板を新装した金城さんと新看板(10月25日)で3033日目(に)



## 赤土の搬出を遅らせる安和・塩川港の牛歩戦術にご参加を!

### ゲート前県民大行動へ ご参加を!

主催 オール沖縄会議  
 日時 11月5日(土)午前11時~  
 場所 キャンプ・シュワブゲート前



写真は750人が参加した10月1日の県民大行動



本部町島ぐるみ会議の原田みき子さんの情報です。塩川港からの土砂の海上輸送は10月14日から21日まで中断しました。東シナ海で4メートル以上の高波が続いていたため輸送船が出せなかったからです。一方、安和港からの搬出は19日から再開しています。しかし、この間もダンブが数珠つなぎ(写真上)し、琉球セメント棧橋の構内に土砂の貯め置き作業を連日夜8時直前まで続けています。構内は不夜城のような異常な光景です(写真下)。島ぐるみ会議名護と本部町島ぐるみ会議では、安和琉球棧橋と塩川港での牛歩戦術による違法な赤土の搬出作業を遅らせる活動への参加を呼びかけます。(写真はへり基地反対協ブログから)